



## こんな取組を進めましょう！



「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての図書館の機能を活かした授業づくりや読書活動の充実に向けた取組を紹介します。

### 全校一斉読書

朝の読書や「子ども読書の日」、秋の読書週間に合わせ、子どもたちが一斉に一定の時間、本に接する機会を設ける。

### 読書の記録

自分の読書傾向を把握したり、読んだ内容を改めて思い出したりすることができるように、読んだ本の書名等を冊子や端末等に記録する。

### 並行読書の視覚化

並行読書材一覧表を作成し、読み終えた後、シールを貼れるようにすることで、読書状況を視覚化する。

子どもたちの「もっと読みたい。」を引き出したり、交流時に活用したりすることができる。

### まわし読み新聞

新聞の記事に親しむ機会をもつために、子どもたちが新聞を持ち寄り、気になる記事や面白い記事の一つずつ切り抜き、なぜその記事を選んだのかを発表する。その後、トップ記事を決めて、上から順に記事を貼っていき、編集後記をつけて完成させる。

### 児童生徒の主体的な活動

子どもたちによる、同世代や異年齢の子どもたちへの読み聞かせ、行事等に関連する本やおすすめしたい本の企画展示、紹介したい本の名前と宛名を書いた郵便を校内のポストに入れると図書委員が配達してくれる「読書郵便」、学校図書館に関するクイズラリー、出されたお題のテーマに合った本を探す「本探しゲーム」など、子どもたちが主体となったユニークな活動によって、本との出会いの機会を提供する。

### 学習成果物の交流の場

子どもたちが授業のなかで作った学習成果物を学校図書館に展示する。

学びの共有とともに、下学年は「私も〇年生になったらあのような学習ができる。」というあこがれや見通しにつながる。

### 学校図書館につながる廊下の工夫

学校図書館につながる廊下に書架と椅子を設置し、学校図書館の外でも自由に本を手に取り、読むことができるようにする。

### ICT活用と学校図書館活用

子どもたちが学びに必然性のある資料や情報を選択できるよう、端末等のICT機器と図書資料をバランスよく活用し、多様な資料に触れる機会を設定する。

全教職員の手で創意ある取組を行い、子どもたちが主体的に本に手を伸ばす環境づくりを進めましょう！

